

A 様：エネルギー・住宅関連会社社長

B 様：社会福祉法人施設長

C 様：主婦

D 様：主婦

E 様：公認会計士

校長 相馬真吾

副校長 宮下靖広

教頭 大村 慎（書記）

《学校運営》

- ・生徒保護者ともに相談に対応する体制が整っており、学校との信頼関係が築かれていると思われる。
- ・教職員は研修会で得たものを実際の教育活動に生かせるよう工夫が必要だと感じる。
- ・生徒たちが地元への就職を選択することが増えるよう、地元企業との接触を持つ機会をたくさん設けていただきたい。
- ・毎年アンケートで生徒のA回答が多く、先生に対する信頼感があると思う。
- ・貴校には様々な特色を兼ね備える4学科（普通科は3コース）があり、それぞれに魅力ある教育活動を展開していると認識しています。即戦力の職業人の育成に邁進していた黎明期を経て、早くから海外との留学交流、人事交換に着手し、現在は世界で活躍でき得る人材の醸成輩出に至り、大きく社会貢献をするようになってきたことは、とても喜ばしいことです。ますますのご発展を遂げ、多くの人材を社会に輩出できますことを願っております。
- ・生徒、教職員、外部と3方向からのアンケート調査を実施し、分析していることに対して、大いに評価いたします。また、調査内容を適宜変更していることも確認できますので、継続した取り組みをお願いいたします。
- ・生徒自身が評価する「学校運営」「学生生活」について、「C」「D」の割合が前年と比較して、減少している。

《教育活動》

- ・わかりやすい授業になるよう工夫され生徒理解につながっていると感じる。
- ・進路についても生徒、保護者ともに丁寧な指導がなされ進路決定に役立っていると思われる。
- ・旭川市内の中学生が札幌の私立校に進学するケースも出てきている。市内他校も進学率を高めてきている。旭川実業高校もより特色を出し、進学率はもちろんであるが、公務員希望の生徒へのサポート強化や、部活生の進路強化などを、大学や専門学校の協力を仰ぎ進めてみてはどうか思う。
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大で、校内での活動、部活動が制限される中での教育活動を継続、展開していくのは大変だと存じますが、生徒たちの3年間は限られてお

ります。ぜひ、皆さんで英知を結集し、この窮地を乗り越えてください。

- ・教職員が評価する教育活動において、9.「地域の行事ボランティア活動等に積極的に参加できるように努めていく」の評価が、昨年に引き続き低く出ています。新型コロナウイルス感染症の影響をまともに受けての数値と思いますが、地域の一員として、学校側と連携を強化していきながら、『ウィズコロナ』を意識して、「何ができるか」「どうしたらできるか」を協議していく必要性を感じています。
- ・愛の鐘「惜陰の塔」(時がむなしく過ぎ去るのを惜しむこと)は私が大切にしている「居来現」という言葉に通じるものと思っており、生徒の皆さんをはじめ、若い人たちに浸透してほしいと思います。

《その他》 (アンケート結果以外を含む)

- ・地元以外の生徒もいるので、ネットでアンケートに回答できるシステムもあってよいのではないかと。
- ・2年におよぶコロナ禍で、学校運営や教育活動に様々な制限やご苦勞があったことと思います。そのような環境の中でも、多くの生徒や保護者から学校生活や教育指導に対して高い評価を得ているのは、運営管理者および教員の方々の努力のたまものであり、心から敬意を表します。これからもより良い教育現場の構築と旭川実業高等学校の発展に邁進していただき、生徒の皆さんが思い出に残る有意義な学校生活を過ごせることを願っています。
- ・前年と比較して回答割合が低下しています。懸念材料のひとつと考えられますので、学校内での分析をお願いします。

※以上、第三者評価でいただいた意見をまとめました。

今後の教育活動に活かしていきたいと考えます。